

平成29年6月13日

各大学長
各大学農学部長 殿
各大学経済学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
加 藤 博 雄
(公印省略)

国際食料経済分野教授の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系農学・生命科学領域では、下記要領により国際食料経済分野の教授を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、農学生命科学部ホームページの教員公募情報(<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/stafflist/koubo/>)にも掲載しております。

記

1. 募集人員 教授1名（任期なし）
2. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
3. 専任担当 農学生命科学部国際園芸農学科
4. 専門分野 国際食料経済分野
5. 担当科目

学部：食料経済論、農業政策論、食農経済専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、園芸農学専攻演習、（以下分担科目）農業経済論、地域ブランド農産物論、国際有機資源論、専門英語、食農経済専攻調査実習、園芸農学基礎演習、国際園芸農学入門、海外研修入門、インターンシップなど

大学院：国際食料経済論A・B、特別研究Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ・Ⅱ、（以下分担科目）研究方法論など

教養教育科目：1～2科目

6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること
- (2) 教育上の実績と、原則として著書及び学会誌またはこれに準ずるものに掲載された原著論文・総説を20編以上有すること
- (3) 原則として最近5年間に公表された同上の業績を5編以上有すること
- (4) 大学院博士課程前期・後期課程において主指導教員として教育研究指導ができる者

7. 着任時期 平成30年4月1日

8. 選考方法

- (1) 書類選考
- (2) 候補者による研究発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）
- (3) 候補者に対する面接

9. 提出書類

- (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
- (2) 研究業績目録（業績の区分、記載方法については、ホームページを参照してください）
- (3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの20編以内の別刷又はコピー

- (4) (3) のうちの 5 編以内について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
- (5) 教育業績書
- (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
- (7) 学会・社会における活動状況の説明書
(所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)
- (8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの(それぞれ 2,000 字以内)

※必要書類中(1)、(2)、(5)、(6)は所定の様式に記載して下さい。

様式は、農学生命科学部のホームページからダウンロードして下さい。

書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

10. 応募期限 平成 29 年 8 月 18 日(金)(書類必着)期限を過ぎた応募は受け付けません。

11. 書類の提出先

〒036-8561 青森県弘前市文京町 3 番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)宛

※封筒に「教員応募書類(国際食料経済分野教授)在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

12. 問合せ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町 3 番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)

電話:(0172)39-3748、FAX:(0172)39-3750、E-mail:jm2745@hirosaki-u.ac.jp

備考

- (1)国際園芸農学科には、教育コースとしては園芸農学コースと食農経済コースがあります。今回の公募は、食農経済コースの国際食料経済分野の教員補充に伴うものです。
- (2)国際園芸農学科は、国際化が進む世界の中で地域の農業と暮らしのよりよい未来を目指して、果樹学から作物学・蔬菜学・花卉学・畜産学及び生産機械学までの農業生産領域と農業経営や国内外の農畜産物の流通機構の改善に関する領域などの研究に取り組んでいます。
- (3)今回公募する教員には、国内の産地の生産・流通に加えて輸出戦略の構築や輸出相手国・地域の市場動向・政策の解析、輸出入を担う食品産業(食品製造業、食品流通業、外食産業等)に関わる専門分野(国際食料経済分野)の教育と研究ができ、社会貢献にも意欲のある方を望みます。
- (4)農学生命科学部は、岩手大学、山形大学及び帯広畜産大学とともに博士課程大学院(岩手大学大学院連合農学研究科)を構成しており、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (5)選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (6)採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます(ただし、任期付きではありません)。
- (7)弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
- (8)弘前大学では、外国人の方の積極的な応募をお待ちしております。
- (9)弘前大学では、担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合、所属が「自然科学系農学・生命科学領域」の他に、「教員養成部門」にも所属することになります。

以上